



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月4日

上場取引所 東

上場会社名 ミニストップ株式会社

コード番号 9946 URL <http://www.ministop.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 信行

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 田中 茂 (TEL) (043)212-6472

四半期報告書提出予定日 平成24年7月11日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	29,610	4.4	786	44.5	1,095	35.6	379	638.8
24年2月期第1四半期	28,372	5.0	1,416	114.2	1,701	73.1	51	84.5

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 866百万円(- %) 24年2月期第1四半期 33百万円(- %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	13.11	13.09
24年2月期第1四半期	1.77	1.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	112,506	57,028	49.1
24年2月期	104,331	56,572	52.8

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 55,264百万円 24年2月期 55,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	-	22.00	-	22.00	44.00
25年2月期	-	-	-	-	-
25年2月期(予想)	-	22.50	-	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,200	7.5	5,050	0.0	5,550	0.0	2,350	21.4	81.26
通期	132,650	8.5	7,800	1.1	8,750	1.7	3,500	12.9	121.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	29,372,774株	24年2月期	29,372,774株
期末自己株式数	25年2月期1Q	451,648株	24年2月期	451,563株
期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	28,921,147株	24年2月期1Q	28,919,047株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
- ・本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経済は、円高や電力供給問題の継続、欧州債務危機、米国の景気停滞等により、先行きが不透明な状態が続きました。

このような状況の中、当社グループは、「私たちは、「おいしさ」と「便利さ」で、笑顔あふれる社会を実現します。」というミッションのもとで、2011年3月に発表した中期経営計画の2年目として、「国内既存事業の差別化戦略」「成長戦略の多様化」「ミニストップグループ価値の向上」という基本方針に基づき、当社グループの成長に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における連結業績につきましては、営業収入296億10百万円（前年同期比104.4%）、営業利益7億86百万円（同55.5%）、経常利益10億95百万円（同64.4%）、四半期純利益3億79百万円（同738.8%）となりました。また、国内および海外のエリアフランチャイジーを含めた当第1四半期連結会計期間末店舗数は4,230店舗となりました。

各事業の活動状況は次のとおりです。

〔国内事業〕

ミニストップ㈱は、2013年にお客さま評価No.1を獲得するというビジョンを掲げ、「コーヒー、スイーツ、おにぎりといえばミニストップ」の実現に向けて取り組んでおります。

「コーヒー」では、「M's STYLE COFFEE」の販売拡大に向け、「ミニストップお得なケータイサイト」の会員の方への割引クーポン配信や、期間限定で行ったコーヒー100円セール等の販売促進を行い、販売数、売上高ともに前年実績を大きく上回りました。「スイーツ」では、店内加工ファストフードにおいて、カスタードプリンソフトにローストシュガーをトッピングした「クレームブリュソフト」や、クレープ生地にかスタードアイスマースとソフトクリームバニラを組み合わせた「クレープソフト」といった新しいタイプの商品を発売いたしました。「おにぎり」では、店内で加工した「手づくりおにぎり」と「惣菜」を取り扱う店舗数が5月末時点で1,157店舗となりました。その他の取り組みといたしましては、シニア層、アクティブシニア層、女性のお客さまに支持される店舗づくりを進めるため、イオンのブランド「トップバリュ」を中心としたデイリー商品や冷凍食品、農産や調味料等の品揃え拡大に取り組んでまいりました。また、お客さまとのコミュニケーション機会の拡大のため、新キャラクター「ミミップくん」を3月に誕生させ、当社情報の発信強化に取り組んでまいりました。

店舗の開発におきましては、採算性を重視した新規出店、4月に開通した新東名高速道路のパーキングエリア内への5店同時出店をはじめとする施設内出店の加速、店舗の商圏の変化に対応したスクラップアンドビルドを進めてまいりました。また、既存加盟店オーナーさまには経営店舗数を増やして事業規模を拡大していただくことを推進してまいりました。

上記の結果、当第1四半期連結会計期間における既存店1店1日当たりの売上高前年同期比は97.9%となりました。なお、当期よりプリペイドカード（プリペイドカード）部門の売上計上を手数料収入に変更しており、売上高へのマイナス影響が約2%発生しております。また、1店1日当たりの売上総利益高の前年同期比は100.1%となりました。新規出店と閉店につきましては、新規出店が37店舗、閉店が12店舗となり、同会計期間末店舗数は2,071店舗となりました。加盟店を含む全店売上高は869億93百万円（前年同期比102.2%）、営業総利益は120億20百万円（同104.4%）、販管費は、積極的な出店による設備費の増加、手づくりおにぎり取り扱い店舗数の拡大による売場関連経費の増加等により109億80百万円（同107.9%）となりました。営業利益は10億39百万円（同77.6%）、経常利益は13億23百万円（同79.6%）、四半期純利益は4億89百万円（同1237.7%）となりました。

ドラッグ&コンビニ店舗を関東地方と近畿地方で展開している㈱れこっずの同期間における新規出店は3店舗となり、同会計期間末店舗数は20店舗となりました。

北東北地区でエリアフランチャイズ事業を展開するエヌ・ビー・ジー・エムエスネットワーク㈱の同会計期間末店舗数は42店舗となり、この結果、国内総店舗数は2,133店舗となりました。

ネットワークサービス㈱は、定温センター13か所、常温センター5か所を運営し、国内ミニストップおよび「れこっず」店舗向けの共同配送事業を展開しております。

これらの結果、第1四半期連結累計期間における国内事業の営業収入は178億40百万円（前年同期比101.7%）、営業利益は10億38百万円（同77.4%）となりました。

[海外事業]

韓国ミニストップ㈱は、新規出店が87店舗、閉店が28店舗となり、当第1四半期連結会計期間末(2012年3月末)店舗数は1,734店舗となりました。既存店日販は天候不順の影響により前年を下回りました。この結果、営業収入は116億73百万円(前年同期比108.3%)、営業損失は1億66百万円(前年実績は営業利益1億15百万円)となりました。

中国の青島ミニストップ有限公司は新規出店が6店舗、閉店が1店舗となり、同会計期間末店舗数は34店舗となりました。

フィリピンのロビンソンズ・コンビニエンス・ストアーズ・インクの同会計期間末店舗数は327店舗となりました。

ベトナムのG7・ミニストップ・サービス・アンド・トレーディング・ジョイント・ストック・カンパニーの同会計期間末店舗数は2店舗となりました。

これらの結果、海外の第1四半期連結累計期間末店舗数は2,097店舗となり、第1四半期連結累計期間における海外事業の営業収入は117億69百万円(前年同期比108.7%)、営業損失は2億52百万円(前年実績は営業利益74百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ81億75百万円増加し1,125億6百万円となりました。これは主に関係会社預け金が30億円増加し、有価証券が9億93百万円、差入保証金が6億95百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ77億20百万円増加し554億78百万円となりました。これは主に店舗での公共料金等の収納額の増加による預り金が48億11百万円増加、買掛金が18億61百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億55百万円増加し、570億28百万円となりました。これは主に配当金の支払い6億36百万円がありましたが、四半期純利益を3億79百万円計上し、マイナス計上している為替換算調整勘定が3億5百万円、少数株主持分が2億32百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では2012年4月12日の決算短信で公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(プリペイドカードの受託販売取引)

従来、プリ犬(プリペイドカード)の受託販売取引については総額表示を行っていましたが、当該取引の重要性が増したため、当第1四半期連結累計期間から純額表示に変更いたしました。

これにより、当第1四半期連結累計期間の営業収入及び営業原価は79百万円減少しておりますが、営業総利益、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,999	15,904
加盟店貸勘定	3,957	4,224
有価証券	-	993
商品	1,193	1,638
未収入金	6,309	6,818
関係会社預け金	9,000	12,000
その他	4,377	4,526
貸倒引当金	129	138
流動資産合計	39,707	45,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,013	14,031
器具及び備品(純額)	11,158	11,706
土地	459	380
建設仮勘定	167	172
有形固定資産合計	25,799	26,291
無形固定資産		
ソフトウェア	1,528	1,602
のれん	17	16
その他	84	88
無形固定資産合計	1,629	1,708
投資その他の資産		
投資有価証券	4,976	5,214
関係会社株式	405	437
長期貸付金	572	608
差入保証金	26,810	27,506
その他	4,740	5,082
貸倒引当金	311	309
投資その他の資産合計	37,194	38,540
固定資産合計	64,623	66,540
資産合計	104,331	112,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,453	22,315
加盟店借勘定	732	717
短期借入金	770	1,808
未払金	4,457	4,523
未払法人税等	1,520	774
預り金	9,640	14,452
賞与引当金	267	518
店舗閉鎖損失引当金	45	37
その他	921	1,116
流動負債合計	38,810	46,264
固定負債		
退職給付引当金	26	59
長期預り保証金	6,531	6,735
資産除去債務	1,688	1,715
その他	701	703
固定負債合計	8,948	9,214
負債合計	47,758	55,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,491	7,491
資本剰余金	7,643	7,643
利益剰余金	39,840	39,583
自己株式	797	797
株主資本合計	54,178	53,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,254	2,411
為替換算調整勘定	1,373	1,067
その他の包括利益累計額合計	881	1,343
新株予約権	60	78
少数株主持分	1,452	1,684
純資産合計	56,572	57,028
負債純資産合計	104,331	112,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
営業収入	28,372	29,610
営業原価	14,500	15,090
営業総利益	13,872	14,519
販売費及び一般管理費	12,455	13,733
営業利益	1,416	786
営業外収益		
受取利息	154	162
受取配当金	92	95
違約金収入	18	53
持分法による投資利益	-	4
その他	38	17
営業外収益合計	303	332
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	2	7
貸倒引当金繰入額	4	-
その他	2	9
営業外費用合計	18	24
経常利益	1,701	1,095
特別利益		
固定資産売却益	50	14
貸倒引当金戻入額	44	-
収用補償金	30	-
災害保険金収入	-	10
その他	18	0
特別利益合計	144	25
特別損失		
減損損失	262	324
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	755	-
店舗閉鎖損失	50	27
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5	21
災害による損失	485	-
その他	122	1
特別損失合計	1,681	375
税金等調整前四半期純利益	164	745
法人税、住民税及び事業税	369	539
法人税等調整額	267	110
法人税等合計	102	428
少数株主損益調整前四半期純利益	62	316
少数株主利益又は少数株主損失()	11	62
四半期純利益	51	379

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	62	316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	289	156
為替換算調整勘定	260	365
持分法適用会社に対する持分相当額	-	27
その他の包括利益合計	28	549
四半期包括利益	33	866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39	841
少数株主に係る四半期包括利益	73	24

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間（自 2011年3月1日 至 2011年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業収入			
(1)外部顧客に対する営業収入	17,546	10,826	28,372
(2)セグメント間の内部営業収入又は振替高	50	1	52
計	17,597	10,827	28,424
セグメント利益	1,342	74	1,416

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	254	7	262

II 当第1四半期連結累計期間（自 2012年3月1日 至 2012年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業収入			
(1)外部顧客に対する営業収入	17,840	11,769	29,610
(2)セグメント間の内部営業収入又は振替高	59	3	62
計	17,899	11,773	29,672
セグメント利益又は損失(△)	1,038	△252	786

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	293	30	324

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 2012年3月1日 至 2012年5月31日）

該当事項はありません。